れんさい

医師国家試験に挑戦しよう！

木元　康介

2026 年 2 月実施の第 120 回医師国家試験問題からの出題です。

（正解と解説は 143 頁）

問題

明治期から患者隔離が始まり、その後、治療薬が広く普及したにもかかわらず、隔離の根拠となる法律が平成 8 年（1996 年）に廃止されるまで患者隔離が継続されたことにより、偏見や差別が続いた元患者の経験談を以下に示す。

「私は 12 歳で発病し、故郷から父親に連れられて療養所に入りました。すぐに本名を俗名に変えることを勧められました。私の実家は真っ白になるまで消毒され（中略）引っ越しせざるをえなかったと後で聞きました。」

言及されている疾患はどれか。

a　結核

b　B 型肝炎

c　Hansen 病

d　サリドマイドによる先天異常

e　後天性免疫不全症候群（AIDS）